

自然と歴史・文化の郷

あづみ野やまびこ自転車道



あづみ野やまびこ自転車道



この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。
承認番号 平18第4号、第572号

概要図 S=1:50,000 全体計画区間 L=40.6km S57~H18完成区間 L=20.3km

あづみ野やまびこ自転車道

凡例

- 完成区間 (Red line)
- 計画区間 (Yellow line)
- 駐輪場 (Green P icon)
- トイレ (Blue toilet icon)
- 市町村境 (Yellow dashed line)

1 平出遺跡 2 塩尻短歌館 3 リバーサイドパーク堅石 4 ワインセラー群 5 芳川公園 6 信州スカイパーク 7 松本城 8 アルプス公園 9 松本音楽文化ホール 10 フォレスト松本 11 穂高神社 12 わさび園 13 破山美術館 14 万水川の水車

おさひの花 厚川の白鳥湖



長野県・安曇野建設事務所・松本建設事務所
あづみ野やまびこ大規模自転車道建設促進期成同盟会

アルプスのふもとを 駆け抜ける風たちの サイクリングロード



あづみ野やまびこ自転車道は、安曇野市穂高を起点として北アルプス山麓に広がる安曇野の田園風景から、松本市の中心を南北に流れる奈良井川の清流に沿って走り、かつての宿場町の面影を残す塩尻市本山宿に至る全長40.6kmの自転車道です。

この沿線地域には、国宝松本城を始めとする歴史的建造物、景勝地、文化施設や国営アルプスあづみの公園、信州スカイパーク等の大型レクリエーション施設が散在しています。

自転車は日常生活における身近な交通手段として活用されていますが、自転車の走行環境には車社会の中にあって危険が満ち溢れているのが現状です。そこで長野県と同盟会は、あづみ野やまびこ自転車道の整備を進め、自転車利用者の安全の向上を図るとともに、豊かな自然環境の中のサイクリングを通じた健康の保持・増進を目指してまいります。

【安曇野市】

拾ヶ堰は江戸時代の測量技術と知恵により3ヶ月の突貫工事で1816年に完成しました。灌漑用水として使われ、緩やかな流れとして長野県屈指の米どころ安曇野を形成しています。あづみ野やまびこ自転車道もこの拾ヶ堰に平行して走り、碌山美術館、豊科近代美術館等の文化施設や、道祖神、貞享義民記念館、安曇野市郷土博物館、臼井吉見文学館等の歴史的施設があります。

【松本市】

信州スカイパークは、ファミリースポーツゾーン、総合球技場「アルウィン」等のある競技施設ゾーン、みどりの交流ゾーン、みどりのプロムナードゾーン、ターミナルゾーン、野と花のゾーン、花のプロムナードゾーンのある信州松本空港の周辺部に整備された県内最大規模の公園です。アルプス公園は、北アルプス連峰や安曇野を一望する標高約800mの丘陵に起伏に富んだ地形や恵まれた緑など自然を生かした都市公園で、のびのびと自然に親しむことができる憩いの場となっています。平成19年に開園部をそれまでの2.5倍に拡張し自然環境を活用し、ますます魅力ある公園として生まれ変わりました。

【塩尻市】

右手に北アルプス、左手に高ボッチを見ながらペダルを踏むと、塩尻市に入ります。奈良井川河川敷左岸には、マレットゴルフ場が、右岸には河川公園リバーサイドパーク堅石が整備され、自然豊かなレクリエーションゾーンが形成されています。東方の河岸段丘上には、島木彦彦、若山牧水、若山喜志子らが、創作活動を行った短歌の里広丘、旧善光寺街道の郷原宿、ブドウ畑が広がり、芳醇な香り漂うワインセラーが点在する桔梗ヶ原があります。サイクリングロードは、奈良井川沿いを走り、野菜産地の洗馬地区をかすめて蕎麦切り発祥の地旧中仙道本山宿を経て初夏にはカタクリの花が咲く池生神社へと至ります。

あづみ野やまびこ自転車道

| | |
|------|--|
| 事業名 | 国庫補助 自転車道整備事業 |
| 路線名 | 一般県道 穂高松本塩尻自転車道線 (昭和57年7月16日認定) (通称名 あづみ野やまびこ自転車道) 起点 安曇野市穂高大字穂高 終点 塩尻市大字宗賀(本山宿) |
| 延長 | 40.6km |
| 幅員 | 2.0m(3.0)m~3.0m(4.0)m |
| 着手年度 | 昭和57年度 |

